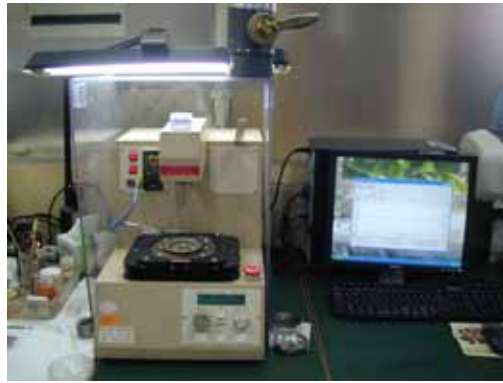


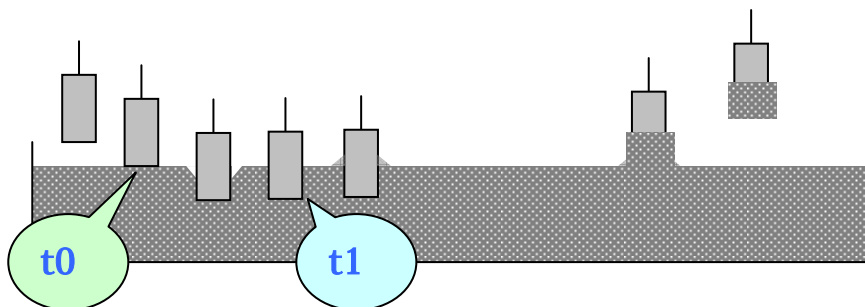
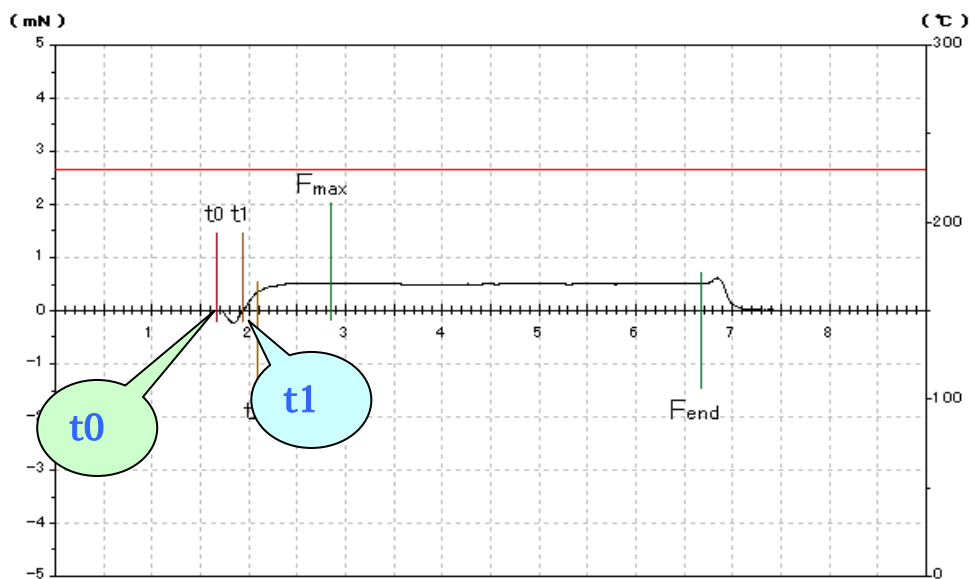
ソルダーチェッカーについて



ソルダーチェッカーとは半田濡れ性の評価を行う試験機で、メニスコグラフ法と呼ばれる試験方法を用いて評価を行います。メニスコグラフ法で用いられるグラフを下図に示します。X軸が時間、Y軸が濡れ応力を表します。

メニスコグラフ法による評価結果として得られる**ゼロクロスタイム**とは、試験片を半田浴に浸漬し、濡れ応力値が0（ゼロ）になるまでの時間です。つまり、**半田の濡れる速さ**を表します。濡れる速さが速いほど = ゼロクロスタイムが短いほど、半田濡れ良好と言えます。

ゼロクロスタイムの規格は、特定の条件（半田温度、浸漬速度、浸漬深さ）にて 1.0 秒以下、3.0 秒以下等と設定されており、製品の仕様・加工段階により異なります。



$$\text{ゼロクロスタイム } T_0 = t_1 - t_0$$